

平成24年度

北海道立生涯学習推進センター

事業実施状況

北海道立生涯学習推進センター

目 次

1 調査・研究

- (1) 調 査 ・ 研 究 1 ～ 4
- (2) 企 画 ・ 研 究 相 談 5

2 指導者の養成・研修

- (1) 主 催 研 修 事 業 6 ～ 8
- (2) 自 主 研 修 団 体 受 入 事 業 9
- (3) 職 員 派 遣 事 業 9

3 学習情報の提供・相談

- (1) 学 習 情 報 の 提 供 1 0
- (2) 学 習 相 談 1 0
- (3) 家 庭 教 育 相 談 1 1
- (4) 資 料 の 収 集 、 展 示 及 び 提 供 1 2

4 学習機会の提供

- 道 民 カ レ ッ ジ 1 3

5 教育メディアの利用促進

- (1) 視聴覚教育に関する教材の収集・整備 1 4
- (2) 視聴覚教育に関する教材の貸出し 1 4
- (3) H24新着教材リスト 1 5

1 調査・研究

(1) 調査・研究

研究課題	研究の概要	
	研究テーマ	内容
地域内産学官連携プログラム開発	地域の生涯学習推進に向けた産学官の連携プログラムの開発	<p>地域の生涯学習の拠点として、従来から大きな役割を担っている公民館や生涯学習センター、図書館等の施設に加えて、新たな学習活動の広がりを創出するために高等学校等を地域の拠点とした学習プログラムを開発する。その際、行政機関をはじめ地域住民や地元事業所等との連携を図り、地域で求められる継続的な学習活動の展開を目指す。</p> <p>開発によって得られたプログラムを道民カレッジの講座として普及するほか、市町村や高等学校等に対しても提示し新たなスタイルの学習活動を普及し、ひいては学習機会の地域間格差の解消を目指す。</p>
当面する課題に関する調査研究	生涯学習事業の連携・ネットワーク化に関する調査研究	<p>道内における学習機会の提供実態等を調査し、道民の自主的な生涯学習活動の支援に活かすための仕組みづくりなど、よりよい支援体制の在り方について、全道社会教育主事等研修会と関連づけて調査研究を行い、道内の生涯学習の振興に寄与するため、その成果を報告書にまとめ、関係機関等に配付する。</p> <p>◆研究報告書第34号 『生涯学習事業の連携・ネットワーク化に関する調査研究Ⅱ』 (平成25年3月発行)</p>

① 地域内の生涯学習推進に向けた産学官の連携プログラムの開発

【調査研究の目的】

地域づくり、ひとづくりを推進するため、地域の教育資源となる高等学校の開放講座を核に、産学官が連携して住民の新たな学び合い（コミュニティ）の場となる仕組みを開発し、広く市町村や教育機関に普及する。

国の動向

- 教育基本法の改正(H18.12)
 - ・生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所で学習でき、成果を生かせる社会の実現を図る
 - ・個人の要望や社会の要請にこたえる教育の奨励
- 社会教育法の改正(H20.6)
 - ・学習への多様な需要を踏まえた学習機会の提供と奨励
- 第2期教育振興基本計画の策定について(諮問)(H23.6)
 - ・主体的に社会に参画し相互に支え合いながら、諸課題を解決できる基盤づくりが求められている。
- 第2期教育振興基本計画について(審議経過報告)第2部各論概要ビジョン4 絆づくりと活力あるコミュニティの形成
ミッション8 互助・共助の活力あるコミュニティの形成
 - ・全学校区に学校と地域の連携・協働体制を構築

北海道の取組

- 第2次北海道生涯学習推進基本構想(H17.2)
 - =北海道らしい生涯学習社会の実現=
 - ・北の大地における地域づくり、人づくり
 - ・道の役割=推進センターを生涯学習推進の拠点として
- 道教育推進計画(H20.3)
 - ・項目20 開かれた学校づくりの推進
保護者や地域住民が学校運営に参画する学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)の導入を図る
 - ・項目31 生涯学習活動の促進
道民カレッジの主催講座・連携講座の充実と道民の自主的な学習活動の促進及び学習成果の活用
- 道生涯学習審議会～具体的方策の提言～(H24.2)
 - ・行政と地域住民、高等教育機関との連携による学習機会の企画・実施

学校開放講座関係

- 開放講座実施校数が減少傾向にある。
(学校における負担が多いとの指摘もある)
- 地域の教育委員会と連携して実施するなどの事例もある。
- 高等学校の地域づくりや人づくりについて果たすべき役割を、生涯学習の視点から捉え直すことが求められている。(道生涯学習審議会H21.12)

【研究概要】

地域の生涯学習の拠点として、従来から大きな役割を担っている公民館や生涯学習センター、図書館等の施設に加えて、新たな学習活動の広がりや創出するために、高等学校を拠点とした学び合いの場となる仕組みを開発する。その際、行政機関をはじめ地域住民や地元民間会社・団体等との連携を図り、地域で求められる継続的な学習活動の展開を目指す。開発によって得られた学習講座(学習プログラム)は、道民カレッジの連携講座として市町村や高等学校に普及し地方での学習機会の拡充を目指す。

【研究のねらい・計画】

3ヶ年計画で高等学校を拠点とした学び合いの場となる仕組みを開発する。その後の成果を踏まえ、生徒が主体となった活動や参加した地域住民主体による自主的な講座の運営など、より多様な学び合いの場の提供を目指す。

○H24 先進事例の聴き取り調査(経過、仕組み、課題や今後の方向性等)
モデル市町村の選定・打合せ、モデルプログラムの企画(仕組み)等

○H25 モデルプログラムの試行及び検証

○H26 モデルプログラムの一般化に向けての再構築(町村規模の高校-職業科をイメージ)、報告書の作成

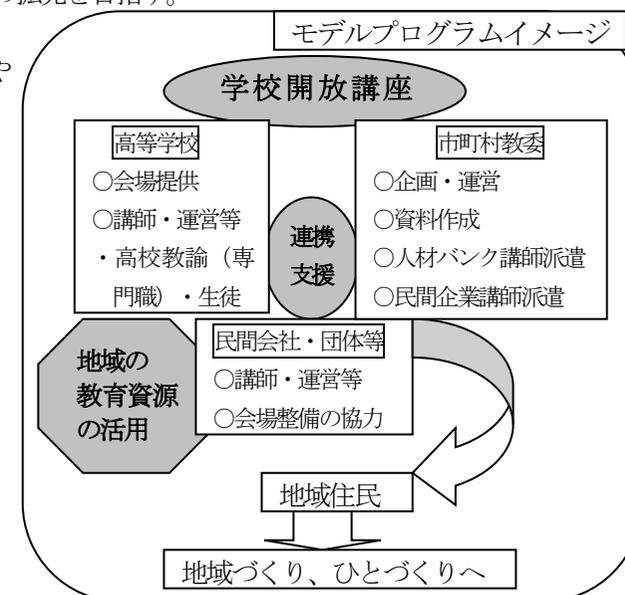
□现阶段の想定として、開発したモデルプログラム(仕組み)に合わせて、1コマ1.5~2時間の学習活動を3回程度継続して実施する学習講座(学習プログラム)を組み立てる。

□拠点となる高等学校等と実施市町村教育委員会の連携を重視し、望ましい関係づくりが行われるよう配慮する。

□本研究において地域住民や地元民間会社・団体等との連携を促進するため市町村登録講師バンク等からも講師を活用する。

□事前の打ち合わせや当日の実施状況の把握などのために、当センター職員が実施箇所に出向き支援する。

□成果はHPに掲載して発信するほか、可能な範囲で「北のまなび」や課題研究の報告書等に掲載する。



② 生涯学習事業の連携・ネットワーク化に関する調査研究

生涯学習事業の連携・ネットワーク化を進める3つのキーワード（1年次の研究より）

◆目的重視

この目的重視とは、単に目的が設定されているということではなく、地域課題への取り組みに関わる主体同士が合意形成し、イメージを共有することを示している。

複数年にわたって同一事業を継続している場合、目的が形骸化していくケースも多いため、その時点で関わる主体の間で、現状や課題に対応した目的を設定・共有することが大切である。

◆双方向性

連携やネットワークという関係性を考える場合、一方向的なやり取りでは関係性が固定化し、新たな展開を生み出すのは難しい。地域課題の解決を視野に入れた生涯学習事業では、多様な主体による双方向のやり取りを通じ、その解決方策や新たな取組を生み出していくことが求められる。

そのため、双方向性の前提となる対等の関係を維持することは勿論、その先にある双方のメリットを認識するための協議の場を設けるなど工夫が必要である。

◆ゆるやか

あいさつ運動など、誰でも気軽に参加できる事業を「ゆるやかな入口」とし、多様な主体が活動に参加、その関わりを深め、双方向にやり取りすることにより、また新たな連携・ネットワークが構築され、地域再生を促す多様な活動へと発展するなど、柔軟性のある関係や事業の展開が効果的である。

また、いったん構築された連携やネットワークの形骸化を防ぐため、その枠組みにとらわれることなく、双方向のやり取りにより、目指す方向を共通に認識しながら、それぞれの主体性を発揮できるようにするなど、その関わりや活動を可能な範囲で継続していく視点も必要である。

【2年次の調査研究の内容】

◆理論研究

生涯学習事業の今日的意義や事業の連携・ネットワーク化に関する文献や資料等を収集・分析し、本調査研究における論点を整理する。

【参考資料】

教育基本法、社会教育法、各種答申、各種関係機関等の調査等



- ・「生涯学習事業の今日的意義」に関する視点について
- ・住民の自主的学習活動の支援を図るための「連携・ネットワーク」の仕組みづくりについて
- ・今後の生涯学習事業における連携・ネットワークのあり方について 等

◆実態調査

道内全市町村を対象にアンケート調査を実施する。

【調査の視点】

コミュニティの再構築へ向けた「住民のまちづくりへの参加」を進める上で、生涯学習事業における「連携・ネットワーク」に視点をおき、地域における学習活動(事業)の状況や「連携・ネットワーク化」による事業の実態、住民の意識、取組(事業)等に関する事例について



本年度(H23)の調査により、道内各市町村の学習機会(事業)に関する状況や生涯学習事業における連携・ネットワーク化の状況と学習支援の在り方について 等

◆事例研究

住民の自主的な学習活動の促進を図るため、事業における連携・ネットワーク化による事業を展開し、住民の学習機会の充実やまちづくりなどへの参加を支援する取組事例等について研究する。

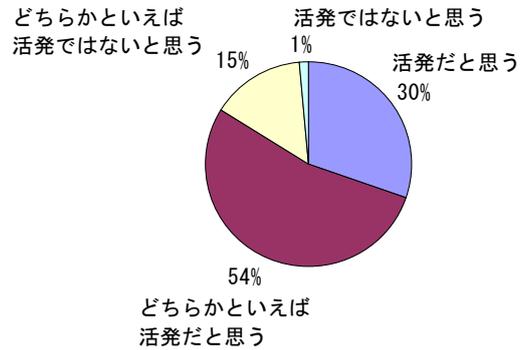
【収集の方法】

- ①道内の事例
 - ・各ブロック研での事例発表
 - ・各種研修会等での事例発表 等
- ②全国の事例
 - ・国社研、他都府県からの情報収集
 - ・研究報告書等の文献 等

◎「まちづくりへの住民の意識や活動に関する調査」の実施

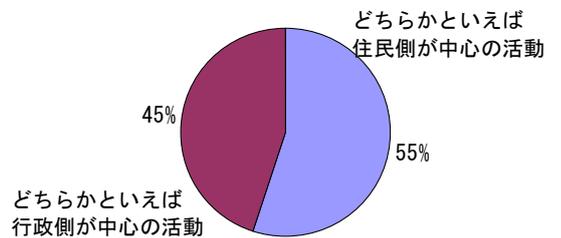
Q1：“まちづくり・地域活動”の状況について

住民側の視点で捉えた“まちづくり・地域活動”の状況について尋ねたところ、「活発だと思う」「どちらかといえば活発だと思う」という2つの回答が全体の8割を超える結果となった。※Q2に続く。
 しかしながら、ほかの2割弱については、「どちらかといえば活発ではないと思う」「活発ではないと思う」という回答であった。※Q3に続く。



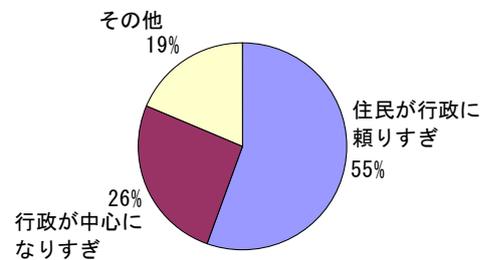
Q2：“まちづくり・地域活動”の内容について

Q1において、「活発だと思う」「どちらかといえば活発だと思う」と回答した方に対し、どのような“まちづくり・地域活動”が活発であるかと尋ねたところ、約6割が「どちらかといえば住民側が中心の活動」、約4割が「どちらかといえば行政側が中心の活動」となり、「どちらかといえば住民側が中心の活動」の回答数が全体の過半数を超える結果となった。



Q3：“まちづくり・地域活動”が活発ではない理由について

Q1において、「どちらかといえば活発ではないと思う」「活発ではないと思う」と回答した方に理由を尋ねたところ、約6割が「住民が行政に頼りすぎているからだと思う」、約3割が「行政が中心になりすぎているからだと思う」という回答であった。
 ほか1割強については、活発化の妨げとなる理由がそれぞれにあるというものであった。



Q4：特記事項

対象者全員に“まちづくり・地域活動”について特に考えていることを尋ねたところ、住民側の視点で“まちづくり・地域活動”への参加が進まない理由などが挙げられた。

(2) 企画・研究相談

ア 事業概要

事業名	事業の概要		
	期間		内容
企画・研究相談	通年	市町村・市町村教育委員会職員、生涯学習指導者等	市町村教育委員会等の生涯学習・社会教育に関する相談に応じ、指導及び助言を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習、社会教育の推進に関すること。 ・生涯学習、社会教育の調査・研究に関すること。 ・生涯学習、社会教育の分権・資料に関すること。

イ 相談状況

		項 目	計	(H23)
相談者区分	1	道民	3	3
	2	行政（市町村教育委員会等）	91	94
	3	学校	9	7
	4	各種団体（社会教育関係団体等）	3	11
	5	その他	1	0
			計	107
			前年比増減	
			△8	

		項 目	計	(H23)
相談内容区分	1	文献・資料	17	21
	2	生涯学習計画・社会教育計画	12	5
	3	社会教育調査・評価	3	4
	4	施設・団体	6	8
	5	学習機会・各種事業	11	15
	6	講師・指導者	23	32
	7	資格・各種制度	11	15
	8	その他	25	15
			計	108
			前年比増減	
			△7	

※ 一件の相談に対して、複数の相談内容が含まれるものもあったため、「対象区分」と「相談内容」の計は一致しない。

2 指導者の養成・研修

(1) 主催研修事業

※「受講者数/定員」の()内は平成23年度実績

事業名	期 日	受講者数/定員	対 象	内 容
課題対応型 学習活性化 セミナー	札幌市 8月23日(木) ～24日(金) (2日間)	29/40 (55/40)	市町村・市町 村教育委員会 職員、各種審 議会委員、各 種指導者、民 間団体(NPO、 ボランティア) 関係者等	〔研修テーマ〕 より住み良い街にするために、あ なたにできることからはじめませ んか?～身近な課題から「もしも」の ときにも対応できる地域コミュニテ ィづくり～ 〔基調講義〕 地域活動へ参画することの意義 北翔大学大学院教授 山谷敬三郎 氏 〔ラウンドテーブル・ディスカッション〕 地域活動の具体的なイメージにつ いて 〔ワークショップ〕 地域コミュニティづくりに自分の できること 〔特別講演〕 地域情報・コミュニケーションの 過去と現在～失われた空間の意味す るところ～ 札幌大谷大学准教授 北郷裕美 氏 〔会場〕かでの2・7
生涯学習ICT 活用研修講座 (旭川会場)	旭川市 7月 5日(木) ～ 6日(金) (2日間)	15/15 (16/30)	市町村・市町 村教育委員会 職員(指定管 理者を含む)、 学校教職員、 社会教育委員 等、社会教育 関係団体やN PO等の市民 活動団体関係 者、生涯学習 実践者、学習 リーダー等	〔研修テーマ〕 ICTを活用した活動の発信 〔講義〕事例発表 北広島ITネットワーク理事長 酒井 正汎 氏 同顧問 小松 直之 氏 〔ワークショップ〕グループ交流 推進センター職員 〔演習1・2〕デジタル映像コンテ ンツの制作体験 〔会場〕旭川市神楽公民館
(北広島会場)	北広島市 7月19日(木) ～20日(金) (2日間)	30/30 (10/15)		〔研修テーマ〕 ICTを活用した活動の発信 〔講義〕事例発表 北広島ITネットワーク理事長 酒井 正汎 氏 同顧問 小松 直之 氏 〔ワークショップ〕グループ交流 推進センター職員 〔演習1・2〕デジタル映像コンテ ンツの制作体験 〔会場〕北広島市中央公民館
生涯学習推進 専門講座	札幌市 11月 8日(木) ～9日(金) (2日間)	37/20 (43/20)	市町村・市町 村教育委員会 職員、生涯学 習関連施設職 員(指定管理 者含む)、社 会教育委員・ 生涯学習審議	〔研修テーマ〕 地域住民との協働による社会教育 ・生涯学習の推進のあり方～プロ セス重視の取組が生む学びあい・ 育てあい～ 〔基調講義〕 まちづくりにおける住民との協働 の意義について

			<p>会委員・スポーツ推進委員等の各種委員 市町村・市町村教育委員会職員等</p>	<p>千葉大学法経学部准教授 関谷昇氏</p> <p>〔事例研究〕 住民との協働の取組事例 〈発表〉 沼田町教育委員会 岩井俊直氏 安平町教育委員会 高橋克年氏 ニセコ町企画環境課 福村一広氏 推進センター職員</p> <p>〔演習〕 住民との協働を進める手法～ファシリテーションの知識と技術～ (株)石塚計画デザイン事務所 代表取締役 石塚雅明氏</p> <p>〔会場〕かでの2・7</p>
生涯学習推進 基本講座 (函館会場)	函館市 10月12日(金) (1日間)	25/20 (32/20)	市町村教育委員会の生涯学習・社会教育関係職員、生涯学習関連施設職員(指定管理者を含む)等、社会教育委員等	<p>〔研修テーマ〕 生涯学習事業の企画のポイント～地域づくりへの住民参加を促す事業の在り方～</p> <p>〔講義〕生涯学習の成果を活用した地域づくり</p> <p>〔情報交流〕住民参加の視点から見る生涯学習事業の実情</p> <p>〔ワークショップ〕 住民参加を促す事業の計画と工夫 推進センター職員</p> <p>〔会場〕渡島総合振興局</p>
	(稚内会場)	稚内市 10月17日(水) ～18日(木) (2日間)	13/20 (19/20)	<p>〔研修テーマ〕 生涯学習推進における評価の在り方～住民参加型の評価について～</p> <p>1日目第1グループ 〔講義〕生涯学習の成果を活用した地域づくり</p> <p>〔情報交流〕各市町の生涯学習事業について</p> <p>1日目第2グループ 〔説明・意見交流〕社会教育計画の策定と評価について</p> <p>2日目〔ワークショップ〕住民ニーズを反映した地域づくりに向けて 推進センター職員</p> <p>〔会場〕宗谷総合振興局</p>
	(釧路会場)	釧路市 7月12日(木) (1日間)	28/20 (27/20)	<p>〔研修テーマ〕 生涯学習事業の企画のポイント～地域づくりへの住民参加を促す事業の在り方～</p> <p>〔講義〕生涯学習の成果を活用した地域づくり</p> <p>〔情報交流〕住民参加の視点から見る生涯学習事業の実情</p> <p>〔ワークショップ〕 住民参加を促す事業の計画と工夫 推進センター職員</p> <p>〔会場〕釧路市生涯学習センター</p>

地域生涯学習 活動実践交流 セミナー	平成25年 2月14日(木) ～15日(金) (2日間)	223/200 (223/200)	生涯学習・社会教育を担当する行政職員、図書館・博物館・青少年教育施設等の職員、生涯学習・社会教育関係の各種委員、生涯学習関係団体の指導者、生涯学習実践者等	<p>[研修テーマ] 「新しい公共」の担い手を育む社会教育行政の在り方～生涯学習に関する事業の連携・ネットワーク化について～</p> <p>[各ブロック研修及び推進センター調査研究報告] 各4ブロック代表者、道主事会協議会役員、推進センター職員</p> <p>[事例発表] 14管内(14市町村職員)の事例(参加者2事例選択制)</p> <p>[ワークショップ] 市町村職員ファシリテーター</p> <p>[全体会] 推進センター職員</p> <p>[特別講演] 「住民主体の課題解決の取組について～新たなまちづくりの仕組みを連携ネットワーク重視で～」 徳島大学 大学開放センター教授 馬場 祐次朗氏 泉川まちづくり協議会顧問 篠原 茂 氏</p> <p>[会場] かでの2・7</p>
--------------------------	---------------------------------------	----------------------	---	---

(2) 自主研修団体受入事業

ア 事業概要

事業名	期 日	対 象	内 容
自主研修団体受入	通 年	市町村・市町村教育委員会職員、生涯学習・社会教育関係団体職員等	生涯学習・社会教育関係者等が行う自主的な研修に対する助言や指導等を行っている。

イ 受入状況

(7) 対象別受入状況

対 象	道 内							道 外	その他	合 計	前年比増 減
	市町村教委事務局職員	道 教 委事務局職員	その他の行政職員	社会教育関係各種委員	社会教育関係団体	学 校	企 業・民間事業所	道 外	その他		
H24団体数	9	1	1	0	1	2	0	0	0	14	△1
H23団体数	6	1	0	0	3	4	1	0	0	15	
H24人数	19	7	1	0	70	10	0	0	0	107	+79
H23人数	6	1	0	0	9	11	1	0	0	28	

(イ) 研修テーマ別受入状況

テーマ	生涯学習全般	生涯学習計画	社会教育の内容、方法、形態	社会教育調査	社会教育計画	学習情報提供・学習相談	社会教育施設	指導者養成	先進事例	その他	合 計	前年比増 減
H24団体数	4	2	2	0	2	1	0	0	0	3	14	△1
H23団体数	4	2	3	0	2	1	0	3	0	0	15	
H24人数	19	3	76	0	2	1	0	0	0	6	107	+79
H23人数	11	2	3	0	2	1	0	9	0	0	28	

(3) 職員派遣事業

ア 事業概要

事業名	期 日	対 象	内 容
職員派遣	通 年	「職員の講師派遣に関する取扱要領」に基づく、振興局又は総合振興局管内規模以上、市町村・市町村教委主催の研修会等	生涯学習・社会教育に関する研修会等を主催する団体からの申請に基づき、職員を派遣し、研修会等において指導や助言等を行っている。

イ 派遣状況

(7) 主催者別派遣状況

主催者	市町村、市町村教育委員会	社会教育関係団体	学 校、教育研究所	民間団体	国、道、道教育委員会等	合 計	前年比増 減
H24	4	12	0	0	2	18	△14
H23	16	11	3	0	2	32	

(イ) 領域別派遣状況

領域	生涯学習・社会教育の推進	指導者養成・研修	社会教育施設の運営	まちづくり	体験活動・ボランティア活動	家庭教育支援	情報機器の活用	学習情報提供・学習相談	男女平等参画	青少年教育	高齢者教育	生涯スポーツ	その他	合 計	前年比増 減
H24	9	6	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	18	△14
H23	8	15	0	5	3	0	0	0	0	1	0	0	0	32	

3 学習情報の提供・相談

(1) 学習情報提供

事業名	期 日	対 象	内 容												
ホームページ 『生涯学習ほっかい どう』	通 年	道民、行政関係者、 学校教育関係者、 社会教育関係団体 等	道民の様々な学習活動を支援するため、インターネットで学習情報を提供する北海道の生涯学習情報のポータルサイトを運営している。URL http://manabi.pref.hokkaido.jp/ ※アクセス数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>Topページ (件)</th> <th>サイト内 (件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>57,988</td> <td>1,441,455</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>54,922</td> <td>1,639,758</td> </tr> <tr> <td>前年比増減</td> <td>+3,066</td> <td>△198,303</td> </tr> </tbody> </table>		Topページ (件)	サイト内 (件)	H24	57,988	1,441,455	H23	54,922	1,639,758	前年比増減	+3,066	△198,303
	Topページ (件)	サイト内 (件)													
H24	57,988	1,441,455													
H23	54,922	1,639,758													
前年比増減	+3,066	△198,303													
生涯学習情報紙 『北のまなび』発行	1月15日 第72号発行 3月11日 第73号発行	道民、市町村教育 委員会等	道民の様々な学習活動を支援するため、情報紙を発行している。学習相談や学習成果の活用を中心に掲載し、センター事業の利用啓発を行っている他、発行直近の研修事業や道民カレッジ情報など、生涯学習に関わるタイムリーな話題等を掲載している。												
遠隔学習推進事業 (遠隔学習の調査研究)	通 年	—	インターネットを活用した生涯学習に関する実証実験を行っている。今年度は、以下の取組を行った。 ・「スレッドリレー」の動画配信 ・ほっかいどう学検定ジュニア検定問題の簡易なゲーム形式での配信												

(2) 学習相談

ア 事業概要

事業名	期 日	対 象	内 容
学習相談 「まなびウイング」	月～金曜日 (祝日、休日、年 末年始を除く) 9:00～17:00	道民、行政(市 町村教育委員会 等)、学校、各 種団体(社会教 育関係団体等) 等	学習相談員により道民の生涯学習活動支援のための学習相談を行う。 【相談場所】 ・かでる2・7ビル8階 生涯学習相談室(まなびウイング) 【相談方法】 ・面接による相談(直接来所) ・電話、ファクス、メール等文書による相談 【相談内容】 ・文献・資料、生涯学習計画・社会教育計画、 社会教育調査・評価、施設・団体、学習機会・ 各種事業、講師・指導者、資格・各種制度等

イ 相談状況

対 象 区 分	項 目		計	(H23)
	1	一般道民	81	94
2	行政関係者	59	54	
3	学校教育関係者	19	17	
4	各種団体関係者	16	26	
5	その他	9	0	
計		184	191	
		前年比増減		
		— 7		

相 談 内 容	項 目		計	(H23)
	1	文献・資料	1	0
2	生涯学習計画・社会教育計画	0	0	
3	社会教育調査・評価	0	0	
4	施設・団体	0	2	
5	学習機会・各種事業	1	4	
6	講師・指導者	101	87	
7	資格・各種制度	2	1	
8	その他	80	97	
計		185	191	

※ 一件の相談に対して、複数の相談内容が含まれるものもあったため、「対象区分」と「相談内容」の計は一致しない。

前年比増減
— 6

(3) 家庭教育相談

ア 事業概要

事業名	期 日	対 象	内 容
家庭教育相談 「子育て カウンセリング」	火～金曜日 (祝日、休日、年 末年始12月29日～ 1月3日を除く) 13:00～17:00 1回約1時間 (要事前予約)	子育てに關する不安や悩みを抱く親等	臨床心理士による無料の相談を行う。 【相談場所】かでの2・7ビル8階 カウンセリング室 【相談方法】原則として面接による相談 【申込方法】予約受付 毎週月曜日～金曜日 9:00～17:00 (祝日、休日、年末年始12月29日～1月3日を除く) 電話/FAX:011-261-4545 E-mail:kosodate@manabi.pref.hokkaido.jp

イ 相談状況

(ア) 相談者内訳

性 別	女 性						男 性						計	前年比 増 減
	年 代	~20代	30代	40代	50代~	不明	小 計	~20代	30代	40代	50代~	不明		
面 接	20	56	193	80	2	351	4	6	10	2	0	22	373	+4
(H23)	38	97	176	51	0	362	3	3	0	1	0	7	369	
電話等	10	9	1	2	1	23	19	2	0	0	0	21	44	△8
(H23)	2	11	6	12	0	31	21	0	0	0	0	21	52	
計	30	65	194	82	3	374	23	8	10	2	0	43	417	-4
(H23)	40	108	182	63	0	393	24	3	0	1	0	28	421	

(イ) 相談内容等 (重複あり)

項 目		面接	(H23)	電話等	(H23)	計	(H23)
親子関係	育児	14	65	2	2	16	67
	しつけ	23	10	1	1	24	11
	虐待(身体・性・心理・ネグレクト)	0	0	0	0	0	0
	性教育	0	1	0	0	0	1
	家族関係(父母・兄弟姉妹)	147	101	4	9	151	110
	発達	134	116	19	20	153	136
	その他	1	1	0	0	1	1
学校関係	不登校	97	83	12	22	109	105
	いじめ	1	0	0	0	1	0
	友人関係	18	41	6	1	24	42
	進路	36	23	3	3	39	26
	学業	13	18	1	0	14	18
	学校(担任)への不満	9	14	0	0	9	14
	学級への不満	0	0	0	0	0	0
その他	1	3	0	0	1	3	
救護関係	異性問題	0	0	0	0	0	0
	非行・暴力	0	0	0	0	0	0
	外泊	0	0	0	0	0	0
	家出	0	0	0	0	0	0
	性格・行動(内気・反抗・習癖)	46	26	0	1	46	27
	たばこ・飲酒	0	0	0	0	0	0
	薬物乱用	0	0	0	0	0	0
その他生活全般	1	1	0	4	1	5	
その他	交友関係	51	55	0	0	51	55
	身体関係	6	5	0	0	6	5
	心身症	23	4	3	0	26	4
	うつ状態・ノイローゼ	19	19	0	0	19	19
	ひきこもり	1	3	19	20	20	23
	その他	26	37	1	1	27	38
合 計	667	626	71	84	738	710	
	前年比増減	+41		-13		+28	

(4) 資料の収集、展示及び提供〔情報交流広場（まなびの広場）〕（委託）

事業名	期 日	対 象	内 容
ア 情報交流広場	通 年	道 民	道民カレッジに関わる相談や情報提供をはじめ、生涯学習に関する図書、資料、パンフレットなどを展示・提供するとともに、道内市町村・団体の生涯学習への取組や学習成果等の発表や紹介の場を提供している。また、自主学習サークルやボランティアの交流促進のためミーティングスペースを設置している。
イ 道民カレッジ 情報コーナー			道民カレッジに関わる相談及び情報を提供している。 ・入学・称号取得手続及び相談 ・講座受講の相談 ・ガイドブック、パンフレット、大学放送講座チラシ、連携講座関係資料等の提供
ウ 展示コーナー			道内市町村及び生涯学習関係団体の取組や学習成果等の発表・紹介を行っている。 ・応募のあった市町村・団体の取組の紹介及び作品の展示（下記参照）
エ ふるさと コーナー			北海道に関わる図書をはじめ、道内市町村の広報誌や情報誌、パンフレット及び団体の文芸誌などの紹介・提供を行っている。 ・地方新聞 ・市町村広報紙、パンフレット ・文芸誌 ・北海道関係図書・資料
オ ビデオレファレンス コーナー			道民の申し出により、「大学放送講座」録画ビデオをはじめ、教養ビデオ・エルネット放送ビデオの試写を行っている。

平成24年度 まなびの広場展示実施団体

番号	実施期間	実施団体名	実施内容
1	4月1日（金）～ 4月30日（月）	（財）北海道生涯学習協会	視聴覚教材活用促進のためのPR展示
2	5月1日（火）～ 5月30日（水）	ガールスカウト日本連盟北海道支部	ガールスカウトの歴史紹介
3	6月1日（金）～ 6月29日（金）	北海道立青少年教育施設展運営事務局	道立青少年教育施設の事業紹介と展示
4	7月2日（月）～ 7月13日（金）	ほっかいどう学検定推進機構	ほっかいどう学検定のPR展示
5	7月17日（火）～ 7月31日（火）	国立大雪青少年交流の家	国立大雪青少年交流の家の紹介と展示
6	8月12日（日）～ 8月25日（土）	NPO法人国際芸術文化協会	日韓の芸術作品等の展示
7	9月3日（月）～ 9月28日（金）	大学放送講座実行委員会	大学放送講座の内容と参加大学の紹介
8	10月16日（火）～ 11月15日（木）	大窪淑絵と彫刻家	スケッチ水彩と彫刻の展示
9	11月1日（火）～ 11月15日（火）	絵画サークル「たんぼぼ」	身近な自然や風景の絵画展示
10	12月3日（月）～ 12月21日（金）	国立日高青少年自然の家	国立日高青少年自然の家の紹介と展示
11	12月22日（土）～ 1月11日（金）	写真集団「はまなす」	日常生活の1シーンを収めた写真展示
12	1月15日（火）～ 2月15日（金）	国立大雪青少年交流の家	国立大雪青少年交流の家紹介パネル展
13	2月18日（月）～ 2月28日（木）	北海道心の教育推進会議	心の教育推進キャンペーン強調月間展
14	3月1日（金）～ 3月31日（日）	フォートさっぽろ「花の会」	フォートさっぽろ「花の会」写真展示

(H23末：20団体)

4 学習機会の提供

道民カレッジ事業

(1) 道民カレッジ本部

事業名	期日・場所	内容
ア 運営委員会 (委員15名)	平成24年 6月14日 9月25日 平成25年 2月4日 かでの2・7	道民カレッジ事業の円滑な運営を図るため、道民カレッジ本部に産学官を構成員とする運営委員会を設置し、必要な事項について協議等を行っている。今年度は、これまでの事業の総括と今後の取組の方向性についても検討を行っている。 [所掌事項] ・事業推進に関すること ・普及啓発に関すること ・産学官の連携促進に関すること ・ほっかいどう学検定に関すること 等
イ 企画専門部会 (委員7名)	平成24年 8月1日 9月25日 11月27日 平成25年 2月4日 かでの2・7	運営委員会の委員を構成員とする企画専門部会を設置し、道民カレッジ事業の推進に必要な専門的事項について協議を行っている。今年度は事業の在り方を検討するワーキンググループとしての協議を行うため回数を増やして実施している。 [所掌事項] ・受講システム、学習方法に関すること ・単位認定等の評価方法に関すること ・称号等の授与方法に関すること ・連携講座の選定、指定に関すること 等

(2) 道民カレッジ事業（委託）

事業名	期日・場所	内容
ほっかいどう生涯学習ネットワークカレッジ (道民カレッジ)事業	通 年 全道各地	道民の専門的・多様化する学習ニーズに対応するため、産学官の連携による生涯学習を支援する体制の整備を図り、様々な学習機会を体系的に構築・提供することによって、道民の生涯学習をより一層振興するとともに、自立した北海道を創造する人材を育成する。 ◇「学びたいという意思」を唯一の入学資格とする「北海道の生涯学習の学園」 ◇全道各地で開催されている講座をだれもが受講可能 ◇自分が学びたい講座を選び、自分を高めるとともに、学習成果を地域等で活用
ア 主催講座 (ア)「ほっかいどう学」 大学放送講座	平成24年 10月6日～ 11月24日 (毎週土曜日) 午前5時 ～5時30分 再放送(金曜日) 10月9日～ 11月27日 HBCテレビ放送	北海道の広域性を考慮し、テレビ放送講座を通して、どこでも誰もが学ぶことができる機会を提供している。平成23年度よりインターネットによる動画配信の期間を1年間に延長して実施している。 ○8大学参加・放送回数16回(H23:5大学参加・放送回数10回) (北海学園大学、北海道医療大学、北海道教育大学、北海道情報大学、北海道大学、札幌国際大学、札幌大学、北海道薬科大学) ○番組：北海道の地域課題をテーマとした内容
(イ)「ほっかいどう学」 出前講座	平成24年 6月～ 平成25年 2月	実施希望市町村等の要望に基づき、講師を地域に派遣し、地域課題解決に向けた参加型学習プログラムによる地域づくり実践講座を実施している。 ○講座回数 6圏域12回 12会場：受講者数493人 (H23:6圏域12回 12会場：受講者数394人)
イ 連携講座	通 年 [前期 4～9月] [後期 10～3月] 全道各地	道民カレッジに賛同する高等教育機関、市町村、民間教育事業者及びNPO団体等が主催する事業等を連携講座として登録している。 ○講座数 2,862講座 (H23:2,922講座) ○コース「ほっかいどう学」、「能力開発」、「環境生活」、「健康・スポーツ」、「教養」の5コースに分類

5 教育メディアの利用促進

(1) 視聴覚教育に関する教材の収集・整備

事業名	期 日	対 象	内 容
視聴覚教材 収集・整備事業	通 年	官公庁、社会教育施設等、学校、社会教育関係団体、民間団体等	学習活動に必要な視聴覚教材を収集・整備し、市町村や関係団体の生涯学習活動を支援している。

視聴覚教材分野別整備状況

家庭生活・趣味	学校教育	教育・福祉	教養	芸術・芸能	産業・技術	市民生活国際理解	体育・スポーツ	その他
225	1,105	870	1,039	837	375	612	134	65

(2) 視聴覚教育に関する教材の貸出し（委託）

事業名	期 日	対 象	内 容
視聴覚教材貸出 事業	通 年	官公庁、社会教育施設等、学校、社会教育関係団体、民間団体等	学習活動に必要な視聴覚教材の貸出しを行い、市町村や関係団体の生涯学習活動を支援している。

平成24年度視聴覚教材利用団体別貸出状況

区 分	官公庁	社会教育施設等	学校	社会教育関係団体	民間団体	その他（個人含）	計	前年比増減
件 数	25	41	21	33	77	0	197	+ 3
(H23)	26	69	39	10	49	1	194	
本 数	55	84	70	84	120	0	413	△29
(H23)	67	112	131	22	106	4	442	
人 数	1,155	2,574	965	1,668	1,261	0	7,623	△4,608
(H23)	1,061	3,300	6,262	597	991	20	12,231	

(3) 平成24年度新着教材リスト

No	タイトル	サブタイトル	内容	上映時間	製作年	網目分類	
1	手にことばを	講座Ⅰ 講座Ⅱ-1	身近な事柄を「身振り」で表現してみたり、あいさつや自分の名前など手話の初歩を学びます。 ・身体を使って表現しよう ・自己紹介をしましょう① (指文字/名前を表す手話)	37	2006	社会教育・福祉/福祉	
2	手にことばを	講座Ⅱ-2	家族構成、趣味、仕事などを入れた少し複雑な自己紹介について学びます。 ・自己紹介をしましょう② (家族/数詞/趣味/仕事/場所)	38	2006	社会教育・福祉	
3	手にことばを	講座Ⅲ	時間や季節食べ物などの表現を学び、手話による会話を楽しまします。 ・楽しもう！手話の会話	37	2006	社会教育・福祉	
4	手にうたを	手話で歌おう①	ヒット曲や童謡などを手話で歌います。 収録曲 「世界に一つだけの花」 「おなかのへるうた」	38	2006	社会教育・福祉	
5	手にうたを	手話で歌おう②	ヒット曲や童謡などを手話で歌います。 収録曲 「手のひらを太陽に」 「ちいさい秋みつけた」	36	2006	社会教育・福祉	
6	手にうたを	手話で歌おう③	ヒット曲や童謡などを手話で歌います。 収録曲 「幸せなら手をたたこう」 「きよしこの夜」	32	2006	社会教育・福祉	
7	ミッキーマウス3	①ミッキーの夢物語 ②ミッキーのがんばれサーカス ③いたずら子象 ④ミッキーのグランドオペラ ⑤ミッキーのポロゲーム ⑥ミッキーの山登り ⑦ミッキーの引越越し大騒動 ⑧ミッキーのライバル大騒動	人気アニメのフクワク・ドキドキのお話を8話収録したDVDです。日本語吹替、日本語字幕、英語字幕などで鑑賞できます。	70	2012	芸術・芸能/アニメーション	
8	辻井正のピラミッドメソッド教育法による幼児教育者養成講座	disc1: 保育環境をデザインするーオランダの幼児教育のスタイルからー disc2: 新しい幼児教育論ープロジェクト保育ー disc3: 気になることもたちーADHD、広汎性発達障害、LD児の受け入れー	子どもの自立、学力向上などをめざし、ヨーロッパの保育現場で実践されてきた「ピラミッドメソッド教育法」を紹介しします。	disc1: 83 disc2: 95 disc3: 95	2008	学校教育/乳幼児教育	
9	病気になるない体づくり コア・トレーニング		メタボ対策や肩こり対策、腰痛などの改善・予防、ダイエットに最適なコアトレーニングを紹介しします。	64	2008	福祉/健康	
10	中高年のための健康教室		日本人の死因の60%をしめるがん、脳卒中、中心筋梗塞などの生活習慣病にならないための心構えと実践したい事柄について紹介しします。	17	2011	福祉/健康	
11	BBC 地中海の歴史と科学 大地からのメッセージ	1 大地の裂け目	イギリスの地質学者イアン・スチュアートが、6テーマと地質を結びつけ地質学を解説しながら、地中海文明の謎を紐解いて行きます。	50	2010	教養/歴史・科学	
12	BBC 地中海の歴史と科学 大地からのメッセージ	2 石と建築		50	2010	教養/歴史・科学	
13	BBC 地中海の歴史と科学 大地からのメッセージ	3 色と芸術		50	2010	教養/歴史・科学	
14	BBC 地中海の歴史と科学 大地からのメッセージ	4 信仰と科学		50	2010	教養/歴史・科学	
15	BBC 地中海の歴史と科学 大地からのメッセージ	5 水と文明		50	2010	教養/歴史・科学	
16	BBC 地中海の歴史と科学 大地からのメッセージ	6 塩と文明		50	2010	教養/歴史・科学	
17	BBC 世界の建築遺産	1 華麗なる建築たち		建築史学者ダン・クルックシャンが世界32ヶ所の素晴らしい建築物・年を巡り、時代や文化を超えて人々を魅了し続ける建築の真実に迫っていきます。	50	2010	教養/世界遺産
18	BBC 世界の建築遺産	2 美しき芸術			50	2010	教養/世界遺産
19	BBC 世界の建築遺産	3 夢のかたち	50		2010	教養/世界遺産	
20	BBC 世界の建築遺産	4 権力の証	50		2010	教養/世界遺産	
21	BBC 世界の建築遺産	5 出会い	50		2010	教養/世界遺産	
22	BBC 世界の建築遺産	6 死と向き合う	50		2010	教養/世界遺産	
23	BBC 世界の建築遺産	7 悲しみを乗り越えて	50		2010	教養/世界遺産	
24	BBC 世界の建築遺産	8 楽園	50		2010	教養/世界遺産	
25	里海 八朗湯物語		八朗湯の復活を願う湖畔住民の奮闘を描いたドキュメンタリーです。	88	2011	学校教育/環境教育	
26	広がれアサザの夢 百年後にトキが舞う霞ヶ浦を		開発により水が汚れ、自然も大きく失われた霞ヶ浦での「アサザプロジェクト」の活動をおたドキュメンタリーです。	65	2006	学校教育/環境教育	
27	アルジャーノンに花束を		知的障害をもつシャルルに知能向上を可能とする新薬実験が行われ、投薬後、一時的に高い知能を身につけるSFファンタジーです。	95	2006	芸術・芸能/劇映画	
28	にんじん		赤毛の少年「にんじん」の目を通してあがられるフランスの児童文学作品です。	90	2003	芸術・芸能/劇映画	
29	氷雪の門		太平洋戦争のサハリン、北海道を舞台に敗戦国の婦女子がたどる暗い運命、希望を描いた作品です。	120	1974	芸術・芸能/劇映画	
30	こねこ		大都会に迷い込んだ「こねこ」と仲間たちの児童向けの冒険物語です。	84	1996	芸術・芸能/劇映画	
31	ヒヤリ・ハット ～放置すれば災害へ 分析すれば安全へ～		作業現場でのヒヤリ・ハットの内容を理解し、その原因分析などを通して危険の芽を摘み取るための研修として活用できます。	15		産業・技術/労災	